

生徒会役員及び学級役員・専門委員の認証式がありました。

今まで生徒会の中心となって頑張ってきた旧生徒会役員の人たちの最後の挨拶、新本部役員の認証、そして後期お世話になる学級役員、専門委員の認証とたくさんの人たちの名前が呼ばれ、それに対する応答の声、後期活動のスタートのときです。後期も行事は目白押し、それを運営していくのは新しく役員になった皆さんです。そしてその皆さんを支えて活動を活性化させ、成功に導くのはクラスの仲間全員。一人が欠けてもうまくいかないもの、みんなが力を合わせ、持っているものを出し切ることでぜひとも素晴らしい取り組みにしていってください。そういう意味で今日は、新役員さんたちの仕事始めの日でもありました。そんな晴れの日にも水をさすようで申し訳ないのですが、認証されるのに、自身の名前を呼ばれたとき、いるのかいないのか分からない程小さな返事、隣の人とのおしゃべりに熱が入っていた人など、少し残念でした。どうあるべきだったのかは分かる筈です。次の機会の反省材料にしてほしいですね。



新人大会に向けて壮行会

そして新人大会ではどのクラブも健闘してくれました

認証式の後、隊形を入れ替え、新人大会に向けての壮行会が行われました。初めてデビューする人もいる中、1、2年生の皆さん、少し緊張気味でしたか。いよいよ闘いは始まります。正々堂々ともてる力の全てを出し切り、勝利してほしいと思います。3年生の思いを1、2年生すべてが受け継ぎ、闘いに臨もうとしている姿が印象的でした。どこまで勝ち抜くことができるか、それは誰にも分かりません。しかしながら最後まであきらめることなく、全力でプレーすることで悔いのない大会にしてほしいと考えます。あわせてどこで闘おうと、どのような結果になろうと西陵中学校の生徒として、全ての面で最後まで頑張してほしいと思います。と、このような思いで、選手たちを送り出したのですが



新人大会当日は、あいにくの空模様、朝から曇り空が広がり、今にも

降り出しそうな状況でしたが、それぞれの試合会場に向け、選手たちは出発していきました。

そして精一杯闘ってきてくれました。結果はともかく、新チームとしてのデビューを果たしてくれました。これから、闘いは続きますが一戦一戦を大切に取組んでいってほしいと考えます。

三泗地区新人大会 結果

野球	1回戦	0-5	(対常磐中)	惜敗	サッカー	1回戦	0-5	(対桜中)	惜敗
バレー	1回戦	1-2	(対富洲原中)	惜敗	陸上 (市川 唯人)				
テニス (男子)	1回戦	1-4	(対常磐中)	惜敗	1年1500m	優勝	(大会新)		
テニス (女子)	1回戦	4-1	(対三重平中)	勝利	共通 800m	3位			
ベスト8	2回戦	1-3	(対笹川中)	惜敗	テニス男女個人戦	雨で中止			
バスケ (男子)	1回戦	21-67	(対三重平中)	惜敗					
バスケ (女子)	1回戦	63-15	(対山手中)	勝利					
ベスト8	2回戦	39-21	(対富田中)	勝利					
	3回戦	31-51	(対内部中)	惜敗					



朝日新聞のコラム「天声人語」をスクラップ

本校1年、清水美優さんが、スクラップコンテストで栄えある四日市市長賞を受賞。

国内外の政治や経済、社会など幅広い分野について考えをまとめ、自作の一句も添えた素晴らしい作品となりました。その自作の句とは「スピード感／辞任ではなく／復興へ」で、前後復興担当相の放言辞任に対し、「国の代表なのだから責任を持った行動をとり、言葉を使ってほしい。」という思いが込められたもの。これからも新聞を通じて世の中のことをもっと知りたいと語る清水さんにエールを送りたいと思います。

四日市市長賞 西陵中1年・清水美優さん (ED)

自作の一句 社会を切る

具知軍団に輝いた昨年同様、朝日新聞のコラム「天声人語」をスクラップした。国内外の政治や経済、社会など幅広い分野について考えをまとめ、自作の一句も添えた。

東日本大震災の重傷が多かった中、一政治家同士が批判し合う、政治の元々、に過ぎない。中でも根本、相復、異担当相の放言辞任、「国の代表なのだから責任を持った行動をとり、言葉を使ってほしい。」「スピード感／辞任ではなく／復興へ」と詠んだ。

サッカー女子ワールドカップでの日本代表の初優勝には、「がんばるぞこり(イコール)栄耀への道」と教えてもらった。「これからは新聞を通じて、世の中のことをもっと知りたい」と語る清水さんにエールを送りたいと思います。